

1. 科目名 (単位数)	図画工作 I (小) (2 単位)		3. 科目番号	EDEL1304								
2. 授業担当教員	薬本 武則											
4. 授業形態	実技、講義	5. 開講学期	春期									
6. 履修条件・他科目との関係												
7. 講義概要	<p>実技や講義を主体とし、造形表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形に関わる基本的な知識や技能を習得し、子どもたちの創造性豊かな表現活動を支えるための基礎的な力を身につけていくことを目的とする。</p> <p>制作実践を踏まえ、自身の造形表現の経験を豊かなものにしていくとともに、指導者として子どもの造形活動にどのように関わっていくかを考え、幼児期・児童期の造形の特徴や教育的意義への理解を深めていく。その中で表現の面白さを実感し、自分らしさと向き合い、自身の感性と創造性を育む。</p>											
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術的な「上手・下手」にとらわれず、ものづくりの楽しさや表現の喜び、感動を実感として得る。</li> <li>2. 子どもたちの生き生きとした表現に寄り添うことのできる感性と、柔軟な観察眼を養う。</li> <li>3. 発達段階における造形の特徴を理解し、興味を引き出す題材設定や援助の在り方について学びを深める。</li> <li>4. 素材体験や題材研究の経験を重ね、造形教育の指導者として不可欠な基礎的造形力を身につける。</li> <li>5. 造形活動を行う場の在り方について考察を深め、安全性に配慮された適切な環境を構築する力を養う。</li> </ol>											
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 毎時の授業において制作する作品を完成させる (90分以内での完成を目指す)。</li> <li>2. 毎時の授業において、完成させた作品を発表する。</li> <li>3. 授業における作品制作を、テーマ・使用材料・作業方法・感想及び反省内容を記述する。</li> <li>4. 詳細については、オリエンテーションの際に説明する。</li> </ol>											
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】薬本武則著『美術原理』K's 工房出版。</p> <p>【教材】画材 (スケッチブック《S120》、水彩道具一式、色鉛筆《12色》) などの準備。授業ごと事前へ通知。</p>											
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童の表現に寄り添った造形活動の在り方について考える力がついたか。</li> <li>2. 発達段階における造形表現の特徴に関する基礎的な知識が身につけられたか。</li> <li>3. 児童の造形活動を指導する上で不可欠な基礎的造形力、技能が身につけられたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への取り組み、制作や鑑賞活動の成果、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>4. 課題 (作品発表、レポート等)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table>				1. 授業への積極的参加	総合点の 20%	2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の 30%	3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)	総合点の 30%	4. 課題 (作品発表、レポート等)	総合点の 20%
1. 授業への積極的参加	総合点の 20%											
2. 日常の学習状況及び自己課題への取り組み	総合点の 30%											
3. 制作や鑑賞活動の成果 (ポートフォリオ等)	総合点の 30%											
4. 課題 (作品発表、レポート等)	総合点の 20%											
12. 受講生へのメッセージ	1. 基本的な授業に対して、各自が自分なりのイメージを創り、自ら考え工夫する自由な心で表現する力を育成すること。											
13. オフィスアワー	授業の前後											
14. 授業展開及び授業内容												
講義日程	授業内容	学習課題										
第 1 回	◇ オリエンテーション 「図画工作 I」の授業内容について説明する。	事前学習	シラバス「図画工作 I」を一読する。									
		事後学習	説明内容をポートフォリオにまとめる。									
第 2 回	◇理論 美術教育 (図画工作) の基本意識について、美術原理から理論的に解説する。	事前学習	「美術原理」「小学校学習指導要領・図画工作」を読む。									
		事後学習	説明内容をポートフォリオにまとめる。									
第 3 回	◇理論 美術教育 (図画工作) の表現、鑑賞方法について、美術原理から理論的に解説する。	事前学習	「美術原理」を熟読する。									
		事後学習	説明内容をポートフォリオにまとめる。									
第 4 回	◇レポート レポート作成 (私と美術)、理論と体験を融合させた立場から記述する。	事前学習	レポートの構想を練る。									
		事後学習	「美術」表現、鑑賞の基礎をポートフォリオにまとめる。									
第 5 回	◇絵画表現① 風景写生 (クレヨンを用いて、身近かな風景を描く)。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。									
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。									
第 6 回	◇絵画表現② 自画像を描く (クレヨンを用いて自分の顔を立体表現する)。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。									
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。									
第 7 回	◇絵画表現③ 手をデッサンする (色鉛筆を用いて光と陰を的確に表現する)。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。									
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。									
第 8 回	◇版画表現① 落ち葉等を型押し版画にする。(水彩絵具を用いて表現する)。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。									
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。									

第9回	◇紙細工① 花を表現構成する（多色な折り紙を用いて、様々な花を表現する）。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。
第10回	◇紙細工② 想像画を制作する（広告、雑誌等を利用して生活空間を表現する）。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。
第11回	◇紙細工③ 飛ぶ鳥を作る（画用紙・厚紙や折り紙等を用いて表現する）	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。
第12回	◇紙細工④ お面を作る（画用紙・厚紙や折り紙等を用いて表現する）	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。
第13回	◇素材研究Ⅰ 粘土を使って手の立体作品を作る。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。
第14回	◇素材研究Ⅱ 粘土を使って十二支の立体作品を作る。	事前学習	指定された教材を準備し構想を練る。
		事後学習	制作過程、完成作品のコメントをポートフォリオに記録する。
第15回	◇まとめ 発表と講評及び鑑賞	事前学習	作品発表に向けての準備をする。また、鑑賞に対する批評を整理しておく。
		事後学習	他の学生の発表を観察吸収し、良い点を学びコメント等をポートフォリオに記録する。